

「居住環境の生物多様性と小児の免疫機能に関する研究」に参加される方へ

エコチル調査の参加者の方々にご回答いただいたデータの一部を、下記にご説明させていただき追加研究「居住環境の生物多様性と小児の免疫機能に関する研究」のために利用させていただきます。追加研究への参加を取りやめたい場合には、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承くださいものとさせていただきます。

〔 研究課題名 〕

居住環境の生物多様性と小児の免疫機能に関する研究

〔 研究機関名及び研究責任者氏名 〕

研究機関名 国立環境研究所

研究者： （国立環境研究所エコチル調査コアセンター）中山祥嗣、関山牧子、小林弥生
（国立環境研究所社会システム領域）土屋一彬

〔 研究期間 〕

研究の実施許可日～2027年3月31日

〔 研究目的 〕

近年、アレルギーなどの免疫疾患の発症が若齢化しており、その原因として、過去数十年での急激な環境の変化が指摘されています。本研究の目的は居住地周辺の環境を評価できる植物の数（量）と種類（質）を測定し、小児免疫機能との関係を検討することから、子どもの健康に直結する居住地周辺の植物の量と質を同定することです。

〔対象となる方〕

神奈川ユニットセンターと千葉ユニットセンターのエコチル調査に参加される方

〔研究の方法〕

国立環境研究所・エコチル調査コアセンターは、匿名化された個人情報の解析を行います。研究参加者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

〔倫理的配慮〕

本研究は、2024年11月に国立環境研究所の倫理委員会にて承認を得た上で進められています。

ます（受付番号：2024-005）。また、利益関係のある団体等の調査への関与はございません。今回の研究成果は、国立環境研究所情報セキュリティポリシーに従った適正な管理を行います。

〔 個人情報保護 〕

本研究に関して「居住環境の生物多様性と小児の免疫機能に関する研究」の参加者の方々から新たに取得される情報等はありません。既にご提供いただいている情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります、国立環境研究所にて管理させていただきます。

参加者の皆さんの個人情報等が他の方々に伝わることはもちろんありません。この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承くださいものとさせていただきます。

研究の成果は、参加者の方々の氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存され、その後廃棄いたします。なお、研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示いたしますので、下記までご連絡ください。

〔 ご質問、および本研究へのデータ提供を希望しない場合 〕

本研究に関するご質問がある場合や、追加研究への参加を取りやめたい場合には、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。データ解析完了後または研究成果の発表後には、特定のデータのみを削除することが困難となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。なお、研究協力に同意しないことや同意を撤回することにより、利用者の皆様への不利益は一切ございません。

〔 本研究の実施に関する問合せ先 〕

国立研究開発法人 国立環境研究所

エコチル調査コアセンター

研究代表者：中山祥嗣

E-mail：fabre@（末尾に“@nies.go.jp”をつけてください）